

ブラインド清掃、修復を一貫して行うことによる
顧客ニーズへの対応サービスの実施

株式会社武田商店 (おそうじまま ビルぴかそ)

data

ただしようにん

代表者役職名・氏名
：代表・武田陽子
設立年月日：平成7年5月1日
住所
：〒460-0012
名古屋市中区
千代田2-10-5
電話
：052-241-1940
FAX
：052-241-1956
URL
：http://www.
osoujimama.com
：http://www.
bulpicasso.com
E-Mail
：yoko@osoujimama.com
資本金
：1000万円
業種
：ハウスクリーニング、
ビルクリーニング

日本に4台の大型超音波洗浄機を導入、加速度的に引き合いが急増。 快適なオフィス空間を提供



「お客様に喜んでいただくのが励み」と話す武田代表



マスコットキャラクターのビル夫（左）とたま子（右）



大型超音波洗浄機とアルカリイオン電解水で強力に洗浄



修理も行う

ビル部門の清掃を独立

武田商店は平成7年5月、名古屋ではいち早くハウスクリーニング事業を始めた。当初は個人顧客を対象にした「おそうじまま」を立ち上げた。同13年には厚生労働省主催の第1回創業ベンチャー国民フォーラムで起業家部門地域振興賞を受賞し、新聞やテレビの取材が増加。ユーザーニーズの多様化・高度化に伴って、同23年にはビル部門の清掃を「ビルぴかそ」として独立させ、法人顧客を対象にした清掃請負業を展開している。ハウスクリーニングで長年培った細やかな目線でビルクリーニングにも対応。特殊技術が求められるイスやソファのクリーニング、多くのユーザーが困っているブラインドの洗浄や

修理にも力を入れている。「こんなものまでできるのか」というユーザーの声が多く、オーダーは関西や北陸にも広がってきている。

特注の大型超音波洗浄機

最近ではビル部門に力を注ぐ。3年前の「メッセナゴヤ」でイスやソファのクリーニングを実演し、クリーニング前後を比較して見せると、一目瞭然の違いに「どよめくほどの反響を呼んだ」と武田陽子代表は振り返る。洗浄用として米国製専用クリーニングマシンとグリーンシールを取得した洗剤を使うなど環境にも配慮。「平成26年度補助正ものづくり・商業・サービス革新補助金」を利用して、ブラインド用に日本に4台しかない特注の大型超音波洗浄機（洗浄槽幅3m）とアルカリイ

オン水生成機を導入したことを機に、今年のメッセナゴヤではブラインドの洗浄能力比較でアピール。いろいろな幅に対応できることから、新品同様になる洗浄に反応が良く、繰り返しオーダーが入るなど、「6月頃から引き合いが加速度的に急増している」（武田代表）。営業時間外にはユーザー自身による搬入、搬出システムの「ブラインドポストBOX」も始めた。

ニッチなブラインド洗浄

ブラインドはメーカーや年代によって種類がバラバラな上、ブラインドを吊り下げる昇降コードなどの故障もあり、洗浄や修理が大変である。中には、20年以上も手入れがしていないユーザーや洗浄できることを知らないユーザーも多く、「ニッチな事業とも言え

る」と武田代表。また、大規模ビルの建設ラッシュに伴い、建築年数が経過したビルのオーナーや管理会社は空室不安を抱える。そうしたところに、ブラインドの洗浄・修理を施して物件の魅力を上げることで高稼働率につながることを訴えかけていく。郵便局など公共施設の改装工事の入札案件は、ブラインドの洗浄に超音波洗浄機を使用することが必須条件になってきているのも、快適なオフィス空間を提供する同社にとっては追い風になるとみている。

お客様の喜びが大きな誇り

大型超音波洗浄機とpH13.1（水素イオン指数）を希釈したアルカリイオン電解水による強力な洗浄効果に加え、丁寧な手作業での仕上げも好

評。洗浄機の底にある振動板で細かい波動を起こし、ブラインドに入り込んだ汚れを分解・洗浄できるのは大きな武器。ブラインドの頑固な汚れを落とし、新品に近い状態まできれいにでき、タテ型・ヨコ型・ロール型などあらゆるタイプのブラインド超音波洗浄だけでなく、修理ができる点も一層PR。イスは1日150脚、ブライ

ンドだと1日80㎡洗浄でき、残留洗剤もない環境配慮の点も訴え、受注を確保していく。「常にお客様の目線で考え、お掃除のプロとして質の高いサービス」という姿勢で、「お客様に喜んでいただくのが励みであり、大きな誇り」と武田代表は胸を張る。全国ハウスクリーニング協会副会長も務め、業界の地位向上にも貢献している。



ブラインドには頑固な汚れが付く



丁寧な手作業を心にかけている